



第105号

令和7年8月11日発行

社会福祉法人 慈生会 マ・メゾン光星
〒329-3224

栃木県那須郡那須町豊原乙1189

TEL0287-77-1013 / FAX0287-77-0996

URL: <https://www.m-kousei.org/wwwhome/>

E-mail: kousei@jiseikai.jp



私たちの輝きを見つけて

マ・メゾン光星 事務部主任 杉山智和

毎年報道されていますが、今年も例年以上に暑い夏になるようです。以前は夏の日差しを一杯に浴びながら、どうやって夏を楽しもうかと心をワクワクさせていた私ですが、今は異常な暑さのせいなのか、重ねてきた年齢のせいなのか、極力日差しの強い時間を避け、「朝の早いうちに、…陽が沈んでから…」等と消極的になってしまっている自分に少し寂しさを感じています。

こうした周囲の環境や社会の変化に加え、マ・メゾン光星で共に過ごしてきたご利用者も年を重ね、高齢化・重度化が年々進み、今までとは違う様々な状況が出てきています。その様々な変化に合わせて、日常生活や活動面も少しずつ変化させていかなければならないのです。この『変わっていく私たち』の話題は、私が就職した頃から、先輩職員同士が話し合い、新人だった私たちにも問いかけてくださっていた話題でした。「さあ、これからどうやって変化に対応していこうか」と、先輩も後輩も含め、皆で知恵を出し合った結果が現在のマ・メゾン光星の生活や活動内容として引き継がれてきているのです。

私はマ・メゾン光星に就職して最初の3年間は生活支援員としてひかりファミリーで、その後事務員として働かせていただき、今に至っています。生活支援員としてご利用者や保護者の皆様と共に過ごしてきた時と比べ、事務員として、ご利用者や保護者の皆様に加えて、施設の全職員、外部関係機関、施設の運営や管理に携わらせていただいている今では、先輩職員が「変わっていいこう」とおっしゃっていた意味が、より切実に感じられるようになってきました。

マ・メゾン光星で過ごされているご利用者の皆様は、日々新しい事や複雑な事をどんどん覚えるよりも、できるだけ同じ内容や活動を繰り返し続けた方が安定し、落ち着いている方が多くいらっしゃると思います。それに反して、私たちを取り巻く社会や環境、それに合わせ変わっていく福祉制度等はどうでしょうか、目まぐるしく変化するスピードが年々早まっていくのを誰もが実感していると思います。

ます。東日本大震災、コロナ禍、様々な争い、10年ひと昔どころか、10年前は全く予想もしなかった事が起きる現代です。変わることや新しい出来事に対応する事が苦手なご利用者と、周囲との変化スピードの差がどんどん開いていく。こうした不安を私たち職員はひしひしと感じています。

このご利用者と周囲のスピードのギャップを埋められるのが、肌身でその差を実感している私たち職員だと思っています。言葉でうまく表現することが苦手なご利用者と日々を過ごしつつ、その心身の状況を把握し支えている生活支援員、そして共に施設を支えている様々な職種の職員が、それぞれ違った視点、違った立場から、何が私たちの“今”で、どうマ・メゾン光星に合った変化をしていけばいいのかを見つけていきたいと思っています。

そうは思いつつ、人と会話をしているのが、喜び、悲しみ、怒りを感じるポイントは一入ひとり驚くほど違うという事です。ある人は自分の意見に対し深く賛同してくれるけれど、別の方は何も感じなかったり、反対に嫌悪感を抱かれてしまうことさえあります。この違いが怖くてなかなか人と突っ込んだ話を避ける事も、あたりさわりのない話で終わらせておきたい気持ちに誰にでもあると思います。自分一人で考えて行動するか、共感し合える人と行動したほうが簡単で傷つかない。けれど、それではマ・メゾン光星全体の変化を実現するのは難しいのではないのでしょうか。お互いに違いがあっても、ご利用者も含めて私たち多くの職員が共に笑い、悲しみ、怒り、達成感も無力感も分かち合っていく中で、私たちの多くが実感できる変化、私たちの“輝き”を見つけれらると思うのです。

このように感じていることを文章で伝えさせていただけるとマ・メゾン光星は本当に幸せな職場です。これからもご利用者、保護者の皆様、職員のみならずより素晴らしい場所にしていけると思うと、ワクワクした気持ちで一杯になります。これからもよろしくお願いいたします。

★ カトリック

コーナー

聖母マリアの被昇天

おめでとうございます！

カトリック教会では、8月15日「聖母マリアの被昇天」を大きなお祝い日と同じく盛大にミサを捧げます。（聖人の呼び方が変更になり、今までは「聖母被昇天」と言っていたいましたが「マリア」をつけることになりました。日本のカトリック典礼委員会より）

1950年、（当時の教皇様）ピオ12世は、マリア様が靈魂も肉体も共に天に上げられたことを教義として宣言しました。そしてマリア様の信心が深まり特別な日としてお祝いするようになりました。

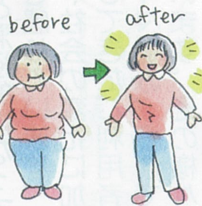
日本では、終戦記念日、お盆、お墓参りとして、亡くなった方を想い起す日でもあります。また教皇ヨハネパウロⅡ世は、8月6日（15日の終戦記念日まで、「平和旬間」と定めた、この世界から戦争や紛争などがなくなりますようにと希望し、宣言されました。ですからこの期間、特に「世界平和」のために、マリア様に取り次をお願いして祈りたいと思います。

異常気象と言われるようになって数年たっています。毎年自然災害で多くの被害にあっている方々のためにもお祈りを捧げましょう。



ベタニア修道女会
Sr. 林 聖子

VOICE



記 家族会 松本香織

恵「バイバーイ」
職員「恵さん待って！一緒に見送ろう」
それなのに手を振ってニコニコさっさと去って行く娘。部屋に戻るのが待ちきれない様子だ。
面談や帰省が終わった玄関先で、娘はいつもあつさりとして私に背を向ける。親としては寂しいシーンだが、それだけ娘にとってマ・メゾン光星はその名の通り楽しい「我が家」なのだろう。
ショートステイから数えてマ・メゾン光星での生活は早20年を迎える。当時はめぐみファミリーで一番の若さを誇った娘も、すっかり主の貴様だ。
太りやすい体質だが、きちんとした食生活と運動サポートで理想的なスタイルを維持。とても家では出来ないことだ。
大好きなテレビと音楽とお気に入りのルームメイトに囲まれて、楽しく過ごしている姿が本人のくつろいだ笑顔からも伝わってくる。
ゆっくりゆっくり成長している娘を、そばで温かく励まして見守ってくれる職員の方々には感謝しかない。この場を借りて心よりお礼を伝えたい。

自治会

暑い季節となりました。自治会では、7月20日の参議院選挙へ投票外出を実施しました。テレビや新聞、掲示板等から情報を得て、記入や指差ししながらそれぞれが投票を行いました。

先立ちまして、6月末にはマ・メゾン光星利用者の自治会役員の選挙もあり、意気込みを見せた多くの利用者の方々が立候補しておりました。個人的には全員当選としたい気持ちがありましたが、当然ながら投票結果に従わざるを得ません。新しいメンバーによる自治会に期待しています。そして、今までの自治会役員の方々へはお疲れ様という気持ちと共に、これからも何かの機会に一緒に活動できたらと思います。

記 田中章



菊地枢機卿来所

7月8日に慈生会法人幹部研修の講師として菊地枢機卿がマ・メゾン光星に来所されました。

菊地枢機卿は、2024年10月に日本人で7人目の枢機卿に任命され、カトリック教会における重要な案件について教皇を補佐し、教会全体にかかわる日常的な職務について教皇を助ける役割を担われています。

4月21日にフランシスコ教皇の死去に伴い、バチカンで行われた新たなローマ教皇を選ぶ枢機卿による選挙『コンクラベ』にも参加されました。



記 田野

オリエンテリング



令和7年6月7日(土)マ・メゾン光星オリエンテリングが開催されました。当日は晴天に恵まれ、ボランティアの方々の協力もあり、和やかな雰囲気の中、クイズを解き、美味しいお弁当を食べ、最後にアーチをみんなで完成させる事が出来ました。

また遠くまで歩けない利用者の方々はミニオリエンテリングとミニゲームを行い楽しんで頂きました。当日は皆様のご協力により怪我、事故等も無く無事終了する事が出来ました事を感謝申し上げます。

記 池田



新衣装で心も新たに!!

常陸国

YOSAKOIまつり!

5月18日に茨城県大子町で開催された『常陸国YOSAKOIまつり』に我々光舞隊が参加してまいりました。

仲間も増え、パワーアップした演舞を大勢の方々の前で披露できたことを大変嬉しく思います。

今回は5年前に作成した新曲『挑み』の初披露となりました。それに合わせ衣装も新調し、気合も十分に練習を重ねて挑みました。練習の甲斐あり、演舞後、多くの方に「よかったよ!」とお褒めの言葉を頂くことが出来、みんな笑顔で終わることが出来ました。多くの方々に支えられ活動出来ていることに感謝し、今後も活動してまいります。

応援して下さい皆様、本当にありがとうございました。

記 柿崎



めぐみF ケーキパーティー

ケーキの種類はたくさんある方がいいと、お店にお願いし用意して頂き、利用者の皆さんは8種類の中から好きなケーキを選びました。
「自分達へ頑張った!これから頑張ろう!」とエールを送り、みんなで乾杯の会が始まりました。
職員も一緒に食べたいと、ジャンケンでケーキ争奪戦! それを見ている利用者さんたちは大喜び、共に楽しんだパーティーとなりました。

記 鈴木雅



「Oyatsu to Cafe kabaco no co」
のケーキは美味しかったよ!!

永年勤続表彰

おめでとうございます。

● 杉山智和さん (20年)

アツという間の20年、振り返ると幸せな日々です。



● 近藤英樹さん (20年)

この表彰を励みに一層貢献できるよう努めます。

● 平山幸子さん (10年)

おかげ様で勤続10年を迎えることができました。振り返ってみますと、日々多くの方々に支えられここまで続けてくることができたと改めて感謝の気持ちでいっぱいです。これからも初心を忘れず努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

● 三原久夫さん (10年)

利用者さんとのたくさん思い出や、貴重な体験を積ませて頂いた10年でした。



お知らせ

★ 光星祭2025開催決定！

7月に入り猛暑が続く日々が続いております。いかがが過ごでしょうか。

さて、今年度も10月に光星祭を開催したいと思います。昨年度同様、感染症予防の観点から外部の方に関しましては限定的にお迎えする形で実施させていただきます。まだまだ、暑い日が続きますので、体調など気をつけてお過ごしください。
光星祭実行委員長 伊藤・大賀



◆ 新任職員紹介

へいわファミリー所属

○ 市村友香さん

今年の5月に入職しました。活気あふれる皆さんと一緒に明るく元気に頑張ります



へいわファミリー所属

○ 増淵敦夫さん

7月から生活支援員として働くことになりました。利用者さんに寄り添いながら楽しい日常生活が過ごせるように出来る限り協力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

◆ ボランティア紹介

受け入れを制限させていただいていたボランティアの方々が、活動を再開されています。いつもロータリーの花壇などを整備して頂いている風花会の皆さん、四季折々の綺麗なお花をありがとうございます。 記 大賀翔平



♡ ご結婚おめでとうございます

ございます。

職員の中中崇介さんと山田結喜さんが、6月17日にご入籍しました。



♣ 赤ちゃんが生まれました。

ひかりファミリー生活支援員の塩田晶子さんに、6月26日赤ちゃんが誕生しました。2764gの元気な男の子です。名前は虎白（こはく）くんです。おめでとうございます。



編集後記

暑い日のマ・メゾン恒例『かき氷』第1回目を美味しくいただきました。これからが夏本番！皆さんと体調に気をつけて楽しみたいと思います。

記 和田